

おもしろいから入学

めだかの学校だよ

平成 18 年 11 月 1 日
第 54 号

学舎：東久留女木新田観音山
「みどりの郷キャンプ場」内
事務局：浜松市引佐町
東久留女木 472-111
TEL053-545-0381

校長訓話

第五十四回校長 喜瀬川はつ枝

今回は、頼りがいのない校長ですみません。
おもしろい人立「めだか」ならでは
すね。訓話を聞いたことは、
何度もありますが、自分が言うの
は初めて。何を書いたら良いか分
かりませんので、自分のいつも
思っている事を書かせていただ
きます。
時々思うのです。地球誕生の太
古の昔から今日までの長い歴史
の中で、人の一生って、マツチ
棒の長さにも満たないのになっ
て。
商業高校へ入学した時、部活の
入部見学に回りました。どの部も
楽しそう、役立ちそうでした。
私の希望はタイプ部でした。でも、
入ったのは演劇部。先輩の一言が、
大きなきっかけでした。
「何もなくても三年、何かに

打ち込んで三年、同じ三年を過
ごすなら高校時代でなければで
きない演劇に燃えるのも面白い
よ。商業の勉強は授業でやるんだ
から。」私のハートにズキンと響
きました。そして、「夕鶴」では
主役（部員がいなかったため）、
三年生では演出をまかされ、とて
も充実した高校時代でした。思い
出は、勉強はそっちのけ、部活と
友達のことばかりですが……。
だから、今でも私の原動力は
チャレンジなのかもしれません。
これだけは頑張ったねと、自分で
自分をほめる事ができるよう、一
日一日を送りたいと思っていま
す。
最後まで読んでくださってあ
りがとうございました。



めだかの学校伝言板

——第 54 回めだかの学校を開校するので出席しなさい。——

開校日／平成 18 年 12 月 1 日（金）6:20PM より

校 長／喜瀬川はつ枝
受 付／服部守孝・太田康雄・水村春江・
教 頭／村松達雄 斎藤 昭（後見人）
用務員／加藤直樹
<時間割>美しい日本・美しいところとからだ～明るい
お正月ごみを拾って迎えましょう～
給食係／水野忠義・浜口弘陸・古田賢二郎・
<作業ができる格好で登校してください>
仲井 司・馬淵亮太・荒木順子・寺田悦子・
鈴木偉代・西川裕子・渡辺三ツ子（チーフ）
・一時間目／社会科「粗大ゴミどこへおいたらいいで
しょう？」水野忠義先生
<学舎>静岡県浜松市引佐町東久留女木観音山
・二時間目／家庭科「地域のお正月料理は五味ひろいから」今村純子先生
みどりの郷キャンプ場
・三時間目／体育「くる～りつるつるチベット体操、
おなかもこころもスッキリと」松下信義先生
TEL なし
・補佐／村松達雄教頭
※給食の時間～年忘れ新年料理？ご賞味あれ～～
10:30 閉校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

農家レストランへ

浜松市細江の農家レストランへ。農家レストランは、農家の生活の中心をなす。...

(なんでもあり農園小作人の松)

うらも農家レストランが、お勧めです。...

菜の花プロジェクト 菜の花

十月一日(日)友人を誘って、菜の花プロジェクトの会場に...

第二十四回地域づくり団体全国研修交流会愛知大会開催

全国の地域づくり団体の研修交流会が、十一月十日、十一日の二日間、名古屋市の「ウイールあいち」で開催される。

第十八回いなさ人形劇まつり

いなさ人形劇まつりが十一月十七日(金)から十九日(日)まで、浜松市引佐町の多目的ホールで開催される。

遠州森町発「第3回町並みと蔵展」

「町並みと蔵展」は十一月二十五日(土)から二十六日(日)まで、森町町の森町会館で開催される。

◇人・ひと・ヒト…だより

●浜松市雄踏町の藤田潤吉メダカ。9歳の奮起一発。現役高校生に、それも級長。NHK学園の通信制課程で勉学。月2回、豊橋市の桜ヶ丘高校でスクーリング授業を受けている。仕事、チンドン、高校生の3役をこなす。

●浜松市細江町の西原弘メダカ。ミュージックグループ「うたぬどうし」(うたの仲間)を結成。ときどき浜松のライブハウスでライブ。ライブの日程は本人に。(TEL053-436-8295)

●浜松市(旧天竜市)の本島慎一郎メダカ。浜松市の18年度優秀技能者10人の中の一人に。「洋服仕立て」で、「表地、芯、裏地一休感を出す技術に卓越」と。ちなみに洋服仕立て一級技能士。県下でも数少ない。どうです、一着、着心地最高ですよ。

●磐田市松の木島の伊藤英雄メダカ。只今、紫芋、シモン芋、エビ芋などまさに芋一色。そのあとにはネギ。頑固を押し売りしているようなこだわりの御仁。なんせ、こだわりの高級料理店しか卸さないのだから。うまさ抜群。芋掘り、ネギ掘り応援者には現物のお礼とか。先日は石野省三メダカと服部守孝メダカ応援に。

●ミカンは磐田市杜山の深澤明男メダカ。この男のこだわりも、伊藤メダカに負けず劣らず。オーナー制もやってくるヨ。12月のメダカの学校には毎回献上。ありがとう!

●長野県高森町の橋都秀子メダカ。「リンゴなら『デコ果樹園』におま

かせを」と。今年のはじめには、長野県海外農業視察団の一員としてドイツへ。元氣一杯の『デコ果樹園』。「御歳暮には、デコのりんごを元氣を詰めて」だった。(デコフ0265-35-3788)です。

●来年のエトは「いのしし」。和歌山県は木の国龍神の真砂典明メダカ。龍神木を使つての「エトのいのしし」づくりにとりかかっている。毎年このながら年始まで多忙をきわめる。おうおうにして、いのしし生まれの人は突っ走るんだって。特にメスのイノシシは恐ろしいんだって。ここだけの話だけど、めだかの学校のイノシシは、関京子メダカを筆頭に、湯浅明美メダカ、鈴木偉代メダカ、54回校長の喜瀬川はつ枝メダカ、エツ、あなたも!私の奥様もです、ハイ。

●浜松市引佐町の伊藤茂男メダカ。「NPO 濱川大好き」の理事長を3月でやめさせてもらつたつもりがやめさせてもらえず再登場。「あとの人生は自由気ままに自分のために使う」といつていましたけれど、今がまさに伊藤メダカさんの人生そのものですヨ。生き生きしてます。

●浜松市細江町の久米久乃メダカ。本業の酒屋と話題の商品づくりで没頭。なつかしの「浜商カレー」をレトルト商品として復活させてしまった。お店の「大村酒店」は細江町気賀の町中に。開発の面白商品もご賞味あれ!

●前衆議院選で話題を提供した浜松市の城内実メダカ。話題の人らしくTBSのカメラもつれて新入生に田舎に遺る伝統芸能や自然環境の保護などを交流の中で学びたいと入校。帰り際にポツリ「はまりそう」だった。

て。

●浜松市の岡田清多良メダカ。ガンはいいが顔面が半分マヒしてしまつて目が見えにくい。出席したいが車が運転できず。健康状態にもよるが、声をかけてあげて。

●袋井市、松本芳廣メダカ。今年もまた「遠州横須賀」ちっちゃな文化展」でそば打ち道場を開く。そば打ち体験&試食大人気、大勢のお客様が詰め掛け大盛況。蕎麦屋さんより忙しかったと嬉しい悲鳴。

※今回は紙面の都合でこれまで。人・ひと・ヒトだより、もっと充実させたいね。FAXか郵便で、電話でもいいですよ。ひとことメッセージを。

◇お知らせ

開校15周年記念事業の実行委員会と実行委員について。前回の便りにも書いたが、委員には、溝口久、松本芳廣、鈴木武史、水村春江、それと「かがり火」の静岡厚生局長の伊藤茂男、中嶋豊、鈴木正士、村松達雄、上嶋裕志、尾上美智子、榊原淑友、水野忠義、オブザーバーには石野省三、伊藤英雄、服部守孝、鈴木真弓、渡辺三ツ子ら職員。その他「15周年記念誌」編集委員には、加藤修一、水島加寿代、照井易子、鈴木智香枝、監修に松田不秋ら。11月中旬ごろに第一回の会合を開く予定です。「私も参加したい」という生徒は事務局まで連絡してください。

めだか春秋

NPO法人を取得して、はや5年が過ぎようとしています。17、8年前、最初は「ふきん」から始まり、環境を訴え、皆が「ふきん」を使うようになり、その「ふきん」が「ガラ紡」だったのです。7年前、そのガラ紡が絶滅の危機と知ることとなり、そしてこの技術が日本古来の伝統技術だったこと、そして和紡文化を未来の子ども達に伝え残していかなければとNPOを立ち上げたのでした。ガラ紡は外国から物が入って来るまで、日本の大事な産業だったんですね。昔は物のない時代、ガラ紡で生計、仕事をさせてもらって自分たちの生活を支えてきてくれたのに、経済優先の時代となり、ガラ紡が衰退し、心も衰退してきてしまったのです。大事なものを忘れさられていく今、「経済優先の社会から心豊かな社会へ」と、心受け継ぐ時代へ、大事なことを伝えていかなければと活動しています。今、和綿の栽培が始まって4年、地域の人たちと一緒に綿の栽培を行っていきます。おかげ様で今年も百ヶ所近くのところで栽培が行われています。そして、小学校でも、綿の栽培からエコクッキング教室と、子どもたちと一緒に綿のこと、環境のこと、そしていのちのこととたくさんさんのことを学んでいます。多くの人たちとの出会いを楽しみます。多くの人たちからも楽しんで活動していきたくて願っています。

(NPO法人・ガラ紡愛好会代表 井上啓子メダカ)

☆「山のレストラン」お別れの夏

8月17日の朝のこと、「榊原さん、リンデンバウムさんのことが中日新聞に大きく出ていますよ」と藤野利昭メダカから電話。「今日は休みだから」と奥さんのはつえメダカと新聞をもつてきてくれた。「こんなに大きく」まさかのびつくり。びつくりしたのは私たちがかりではなかった。コピィを持ってきてくれる人、花束や記念品を持ってきてくれる人などを、多くのおめだか生やお客様がお別れに…。電話やFAXでも…。

びつくりはこれで終わらなかつた。「中日新聞を見ました。『愛は地球を救う』のテレビに出た欲しい。生放送ですが…」の電話。静岡第一テレビからだった。一度は「無理だ」と断つたが、テレビ嫌いの明美さんが「何と、いい？」と言う。聞けば「8月31日でお店を閉めるし、10年間お世話になったリンデンバウムに感謝の記念になるから…」と。

生中継は8月25日、テーマは「絆」。それからが大変だった。「地域の人は…」めだかの学校は…。「人形劇まつりは…」奥様の地域福祉のことは…「特製のカレーも食べたい…」など、あれやこれや、事前撮影もあつたりして…。さて中継当日、めだかの学校の石野省三さん・伊藤英雄さん・加茂光廣さん・水島加寿代さん、地域の人も出演してもらつての本番。草笛の伴奏で校歌を歌つたり、カレーを食べたり、私たちの地域との関わりなど、進行役のアナウンサー久保ひとみさんにせられて、緊張と笑いのア・ワ・テ・ブ・カリ。最後は私たちも知らなかつた石野メダカのメッセージに「ジン…」番組は、翌日から「愛は地球を救う」との関連の「まるごとワイド」だった。夕方5時のニュースをはさんでの20分。見る人は少ないだろうとタカをくくっていたら、終わるか終わらないうちから電話がかかる。…お店はあと数日。「新聞とテレビ」の威力、まさに推して知るべし。感謝とぐつたりの数日だった。多くの人に支えられた10年、感謝の「ありがとう！」

のお別れの夏」も終わり、いまはあらたな旅立ちへと動きはじめています。(バラメダカ)

■お知らせ(…と言う訳で)めだかの学校の事務局だったリンデンバウムは、11月31日をもってしめします。12月から半年間は仮の住いです。順調にいけば5月ごろからは、磐田市家田(旧豊岡村)に居住します。住居の移動に伴ない事務局の住所が変わります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

◆事務局だより

11月はあちらこちらで文化祭。私も出そうと思いきや何もなし。せめておいしいものでも食べて太ろうか。我が家では娘のところまで2人目の孫が生まれて、それも女の子。「女の子はいいねえ、はたちになつたらデートしようね」と言つてる私に、妻の明美さんは呆れ顔、娘と言えは「デートではなくて介護だよ」とは。

扱て「第53回めだかの学校」は9月1日。新人生も多くて、TBSのテレビカメラもつてくるにぎやかさ。校長は村木謙一、教頭は鈴木偉代、用務員は浜口弘隆。授業は一時間の特別授業。先生は菅原欽一。村木校長のたつての願ひもあつて演目は「地域づくり失敗から学ぶ」一失敗の条件あんなことこんなこと。全国津々浦々まで「地域づくり人」を取材している地域情報誌「かがり火」の社長をしてる彼にとつては造作ないこと。「でもねえ、映画評論家の故淀川長治さんの『どこかいところをみつめて褒める』精神を見習つてから失敗を指摘するのは気が進まないなア。会場を出たら私の話は忘れて…」の約束。講義の内容は書けない。…と言いつながら、「北海道のある市の自己破壊は行政の無節制を見て見ぬふりの市民の無関心が最大の原因」。長野県のある村の「国の補助金システムを徹底的に研究し、活用して村の活性化につなげよう」とスキー場

や何やらとハードワークに精を出したらつ腕村長の負のつけが今に…や、名物カリスマのあとの町の現情など、記者の客観的な目でみつめた現実な報告だけにみんな聞き入つてしまった。「一番の失敗例は村木校長先生」との声が。それもそのはず、村木校長、仕事の関係でどうしても会社を抜けられず無念の欠席。(校長代理は鈴木武史メダカ、自らの体験も話して校長訓話よかつたね)。

9月は恒例の野外星空の下でのお給食。怪しき空模様…ということで屋内で、諸般の事情でお酒も飲みにくく、給食当番の汗も混もつて盛々精神で満腹満腹。お待ち兼ねの次回3役発表。第54回は12月1日、校長喜瀬川はつ枝、教頭村松達雄、用務員加藤直樹、島田市 森町、浜松市と地域をとり越えての3役。個性豊かな3人組。さて如何に。

第54回の「めだかの学校」の職員会議を9月28日午後七時から磐田市の元気村「味里」で開く。喜瀬川校長、駅まで車で送つてくれたご主人の愛ある理解で、汽車とタクシー乗りついでご出席。会議はいつもの如く、ああでもないこうでもない。安倍新総裁の「美しい日本…」とか、「毎回テーマを決めておいたらどうか…」と「12月はお正月も近いから…」とかなんとかで、「明るいお正月、ごみをひるつて迎えましょう」に決まる。「作業ができる格好で登校してくださいも入れたら…」と武史メダカ。基本テーマは「美しい」「ごみ」「お正月」。一時間目は社会「粗大ゴミ」ごみにおいたらいいでしょう?」「お」と「い」(注目)水野忠義先生。二時間目家庭科「地域のお正月料理は五味ひろいから…」今村純子先生。三時間目体育「くるりくるるつるチベット体操おなかもころもスッキリと…」松下信義先生(新人生先生)、補佐は村松教頭。■毎回のことながら今回もお詫びとお礼いやアマイッタン。孫のお守りや育児

の応援やら…。そんな私を応援の伊藤英雄メダカ。鈴木武史メダカ、鈴木正士メダカ、石野省三メダカ、本島慎一郎メダカ、鈴木偉代メダカの皆さんありがとう！

■第14期の継続手続きは済みましたか? 14期は平成18年9月1日から19年8月31日までです。まだ手続きのすんでいない生徒は至急済ませてください。名簿からはずれ自動退学となります。入校を希望する方がいましたら事務局までご連絡ください。資料と申込書を送ります。

■めだかの便りの原稿と情報を！ 待つてますヨ。次回の発行は2月1日。1月20日までに郵便かFAXで。メールの方はEメール/teru@nbnnet.co.jpまで。(メールの方は割付の関係もあるので一報を！)

■めだかの学校事務局 〒431-2531 静岡県浜松市引佐町東久留女木472の1-1 榊原幸雄

※学舎「みどりの郷」は何もありません。連絡・問い合わせは事務局「まで」。

053-545-0381 (FAX) (注) 12月より事務局の住所・電話番号などが変わります。現在引越先未定。19年5月以降は磐田市家田(旧豊岡村)となります。ご迷惑をおかけします。よろしく。



静岡県浜松市引佐町東久留女木472-1111「リンデンバウム」内 榊原幸雄

※学舎「みどりの郷」は何もありません。連絡・お問い合わせは「事務局」まで。